



### ステップ君



初めまして、ステップです



皆の勉強のサポートをするよ



僕と一緒にステップアカデミーに通って



成績をあげよう!

### 枚数ランキングインタビュー

1. 枚数ランキングは、勉強のやる気に繋がっていますか  
ランキングに載っているだけで嬉しいし、もっと自分のプリントをやろうと思える。
2. 毎週ランキングに名前が載る事どのように感じていますか。  
ポイントがもらえるのも嬉しいけど、1ヶ月にはこれを頑張るんだと実感できると、もっと頑張ろうとやる気になる。
3. 枚数ランキングに載るコツはありますか  
とにかく必死に問題を解いて解いて...のくり返しです。私は枚数稼ごうとして、そのランキングに載ろうとして、ただでは自分の為にならないと思うから、枚数は質にこだわっている。
4. 巡回指導、海野さんの勉強にどのように受けていますか。  
「発見テスト」というのは、自分が理解しているように理解していない所を探ることですが、そこも、類似問題をたくさん解くことで、必ず問題がでてくる。模範解答も読んで分かるようになります。定期考査前などは積極的に活用して自信をつけています。

### 海野さんの枚数ランキングインタビュー

「枚数を稼ごう」としたり、ランキングに載ろうとしているだけでは自分にはならないと思うから、枚数は質にこだわっている。巡回指導、海野さんの勉強にどのように受けていますか。巡回指導、海野さんの勉強にどのように受けていますか。巡回指導、海野さんの勉強にどのように受けていますか。

## 日々の積み重ねで、成績アップ

小学生からリピーター&トレーニグを実践している海野希帆さん(以下海野さん)。中学三年生になった海野さんは、二月から高校受験都立バックを受講し、それから五ヶ月間、毎月巡回指導枚数ランキングで一位をキープしている頑張り屋さんだ。そんな海野さんに枚数ランキングと巡回指導について話を伺った。「枚数ランキングに名前がある」と嬉しいし、もっとたくさんプリントをやろうと思える」と初めに語り、続けて、「ポイントが貰えるのも嬉しいけど、一か月にこれだけ頑張ったと実感出来るやるとやる気につながる」と枚数ランキングについて答えている。ポイントのため頑張り続けるのはなく、あくまで自分の勉強の為、理解度向上の為に頑張った成果が枚数ランキングにしっかりと表れている。その事を象徴したコメントがある。



2014年(平成26年) 第1号  
編集長: 山内 翔太  
発行元: (株)ステップアカデミー  
加盟団体: 全国学習塾協同組合 東京商工会議所 練馬東法人会

光が丘と成増の個別指導専門塾なら **ステップアカデミー**

1:1 個別指導 先生1人に生徒2人まで  
1:2 巡回指導 先生1人に生徒4人まで

光が丘と成増の個別指導専門塾なら **ステップアカデミー**

ホームページではより詳しい情報も紹介しております  
ステップアカデミー 検索

## ステップアカデミー自慢の教室

### 光が丘第一教室



東京都練馬区田柄5-27-11  
ハートビル4F(光が丘警察署前)  
☎ 03-3999-1179  
<http://www.step-academy.com/>

### 光が丘第二教室



東京都練馬区旭町1-15-29  
光が丘ワタベ不動産ビル3F  
(旭町南地区区民館隣)  
☎ 03-3976-1770  
<http://www.step-academy.jp/>



三教室の中で、最も新しく開校した教室で、清潔感のある内装と静かでの勉強しやすい環境が保たれている。定期試験の前などは、生徒さんが自習室として利用する事も多い。教室長が、『生徒さんの居心地の良い環境作り』であり、生徒さんと近い間柄でいられている。教室運営を心掛けて

### 成増教室



東京都板橋区成増1-13-11  
ファーストビル2F  
(地下鉄成増駅4出口 徒歩1分)  
☎ 03-6904-2404  
<http://www.step-academy.net/>

ステップアカデミーの教室。学問の神様が、菅原道真公を祀っている北野八幡社が隣接している。縁起の良さも手伝って、か、開校すると共に、入塾後すぐに成績が急上昇する生徒さんが続出。光が丘の速読教室も3教室の中で唯一受講でき

第一教室について、より多くの方々に当塾独自の「リピーター&トレーニグ」を体験して頂きたいとの思いから平成二十三年九月に開校した教室で特徴は開放感のあるきれいな室内。どのブースにも教室長の目が届き、質問なども気軽にできる。教室長が大切にしている事は、ズバリ『コミュニケーション』。勉強の相談もそれ以外

# 夏期講習始まる

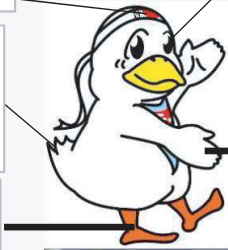
七月二十一日から八月三十一日まで(日曜日を除く)ステップアカデミーで夏期講習が行われる。十七時からの通常授業に加え、夏期講習を取る事で、生徒さんの苦手克服や得意分野をさらに伸ばせる事間違いなし。今年度は、昨年とは異なり、第一教室のみで行うのではなく、第二教室、成増教室でも独自のコースを組んで行われる。そのため、生徒さんの慣れ親しんだ教室で講習を受ける事が可能になった。特に中学三年生にとっては、夏休みをしつかりと頑張るか頑張らないかで、休み明けには大きな差がついてしまう。是非とも夏期講習を受講し、「自分は、これだけ頑張ったんだ」と自信をつけ、年明けの受験までやる気を継続させて欲しい。生徒さんの予定に合わせた夏期講習をステップアカデミーで受講されてみてはいかがだろうか。

# ステップ君は何者か!?

生徒さんの志望校合格を願うはちまき

生徒さんの成績が上るとしっぽを振る

悩んでいる生徒さんのもとに1秒でも早く行ける足



ステップ君

生徒さんの成績アップを信じて疑わない純粋な瞳

生徒さんの勉強をサポートする手

ステップ新聞でステップアカデミーのスコットキャラクターであるステップ君についての調査を開始した。調査の結果、ステップ君は、「常に生徒さんの事を考えている」という事が分かった。

ステップ君は、何者で、なぜここまで、ステップアカデミーの生徒さんをして愛しているのか。今もステップ新聞で調査を進めていく。

# お得な紹介制度

ステップアカデミーには、お得な紹介制度がある。一つは、ご存じの方も多いかもしれないが、生徒さんがお友達を紹介すると、ステップアカデミーが独自に行っている『ポイント』が貰える事だ。こちらは、紹介した生徒さんに120ポイント、紹介された生徒さんに30ポイントプレゼントしている。次に、二つ目として意外と知られていないのが、保護者様からの紹介による特典である。こちらは、紹介して頂いた保護者様に、一コマ分の個別指導(一対二)の受講、もしくは、二千円分の商品券が

貰えるのである。加えて紹介された生徒さんに30ポイントのプレゼントも行っていい。生徒さんだけでなく、保護者様も満足頂ける、このステップアカデミー独自の紹介制度を存分にご利用頂きたい。加えて、下の写真は、今年度のポイント交換によって貰える商品で、約120種類以上の中からお選び頂ける。友達と一緒にステップア



カデミーに通い、勉強を頑張ったご褒美として、紹介制度で得たポイントと交換し、「もっと頑張ってお勉強しよう」との思いが、やる気向上につながる事、間違いなし。

# 成増教室、成績アップ者が続々

開校から半年以上経過した成増教室、成績アップ者が続々出ている噂を聞きつけ、調査に行った。まずは、開校してすぐに入塾された石井莉子さん(以下石井さん)。入塾前は数学の点数が三十点ぐらいだったのが、現在では八十点以上取れるまでになった。直近では、今年度の四月に成増教室に入塾した伊藤望友さん(以下伊藤さん)。五月のゴールデンスウィーク明けに、入塾後初めてのテストがあった。入塾以来、個別指導では学校進度に合わせた授業を行い、巡回指導の方では、一年生からの復習を重点的に行ってきた。ステップアカデミーで推奨している『リピート&トレーニング』を一月間行うと、驚くべき効果を目にした。『スパトレ』というステップアカデミーが使っている自習プリントにある、応用問題を苦戦することなく、解いてしまっていたのである。個別指導での授業と巡回指導での復習の効果が存分に発揮されていた。そして、向かえた連休明けのテスト。テスト返却前に、「テストどうだった?」と尋ねると、「出来ない問題があった」と答えたのだった。少し不安を抱きながら返却されたテストを見ると、入塾前より三十点以上も伸びていた。出た問題が、難しい問題ばかりだった。点数が上がった事より、出来ない問題があった事を気にする伊藤さんの向上心に、もっと成績が上がることを信じたのだった。今回の調査で、成増教室は、開校以来、石井さんや伊藤さんのように全生徒さんのテストの点数が平均二十点以上伸びている事実も判明したのだった。

## 編集長 山内 翔太



初めまして、ステップ新聞の編集長を担わせて頂いた成増教室長の山内と申します。この新聞は、『ステップアカデミー文化』を発信すると同時に高めていきたい」という思いから発刊する事が決まりました。生徒さんや保護者様を始め、塾長や第二教室長の大家先生、講師の先生方のおかげで、無事に完成させる事が出来ました。ありがとうございます。ステップ新聞作成にあたり、最も重要視したのは、『生徒さん本位の物を作る事』です。生徒さん、並びに保護者様に喜んで頂ける物、それを目指して作成致しました。この先、冬、春と年に三回発行する予定ですので、生徒さん、保護者様の楽しみになれば、嬉しい限りでございます。今後ともステップアカデミーを末永くよろしくお願い致します。

# 海の日

「海の日」に海へ行く人はどれ程いるのだろうか? そんなくだらない事を毎年考える。実際、私は昨年の海の日(8月16日)に海へ行った。その日は、曇り空で、「全然海の日じゃないじゃないか」と友人と共に愚痴をこぼした。ただ、海に来て泳がないわけにはいかない。今にも雨が降ってきそうな黒い雲に覆われた、真つ青...とは言い難い、暗い海へ飛び込もうとした瞬間、「冷てっ」という声と共に、先に入った友人の唇に青色が混ざっていくのを目撃してしまった。それもそのはずである。当日の最高気温は二十五度。七月後半には珍しく、三十度を大幅に下回っていた。私の身体は、一気に海への興味を失った。「早く来いよ」遠くから小刻みに震える友人の声が聞こえる。いつの間にか、沖の方におり、水面から顔だけ出し、私を呼んでいた。「慣れれば、大したことないぞ」そう発した彼の唇は、完全に赤色を失っていた。全くもって説得力がない。しかし、ここで怖気づいてしまつては男が廢る。意を決して貝がらの混ざる砂を踏みしめながら海へ走る。「プー」足の裏に付いた小さな貝殻や砂が流れる代わりに、足元から冷気が上がってきた。太ももぐらゐまで水につかった所で、「もう無理」と言つて引き返そうとしたが、時すでに遅し。先に入っていた友人がいつの間にか背後におり、私の腰に腕を回していた。「ちゃんと肩まで浸かりなさい」幼い頃に父と温泉に行くとき必ず言われたセリフと共に腰にある友人の腕に力が入るのを感じた。次の瞬間、私の身体は宙へ浮き、暗い空からポツポツと降る雨が顔に当たる。「次からは海の日じゃなく、晴れの日に来よう」そう心に決意をし、肩までどころか頭から冷たい海に浸かったのだった。